

りんか ニホンナシ「凜夏」のジョイント仕立て栽培

「凜夏」のジョイント仕立て栽培は樹冠拡大が早く、初期収量が多い。

背景・目的

- ニホンナシのジョイント仕立て栽培は、早期成園・省力化を可能とする仕立て方法です。
- 「凜夏」は2015年に品種登録された大果で食味良好な赤ナシ品種で、農業試験場（宮崎市佐土原町）では主要品種の「幸水」と「豊水」の間の8月10日頃に収穫できます。
- ジョイント仕立てと2本主枝仕立ての定植3～5（着果1～3）年目の累計収量を比較しました。

成果の内容

- ジョイント仕立て（図1）の定植3～5年目までの累計収量は、2本主枝仕立て（図2）の1.5倍多く収穫できます（表1）。
- ジョイント仕立ての果実品質は、定植4年目は糖度（Brix）およびpHがやや高く、5年目では差がありません（表2）。

表1 定植3年目からの10a当たりの収穫果数および収量（2019～2021年）

	試験区	定植後の年数			累計
		3年目	4年目	5年目	
果実数（果）	ジョイント	2,042	3,097	2,919	8,059
	2本主枝	1,558	1,886	2,009	5,453
収量（kg）	ジョイント	725	1,213	1,274	3,212
	2本主枝	569	670	865	2,104

注) 定植3年目が初着果
10a当たりの植栽本数はジョイント 222樹（1.5×3m）、2本主枝 82樹（3.5×3.5m）として1樹当たりの収量を換算

表2 定植4年目からの果実品質

定植後の年数	試験区	果実重 (g)	硬度 (lbs)	Brix (%)	pH
4年目	ジョイント	381	4.5	11.8	4.9
	2本主枝	372	4.7	11.4	4.6
	有意性	—	n.s.	*	*
5年目	ジョイント	432	4.3	12.4	5.0
	2本主枝	439	4.3	12.3	5.0
	有意性	—	n.s.	n.s.	n.s.

注) 収穫及び果実分析は2020年8月11日、2021年8月10日
t検定により*は5%の有意差を示し、n.s.は有意差なし



図1 ジョイント仕立て



図2 2本主枝仕立て

成果の活用方法(又は期待される効果)

- 「凜夏」の新規導入、収穫やせん定等の作業の省力化が期待されます。
- 普及対象地域・面積 県内のニホンナシ生産者（西諸県） 27戸、約20ha

留意点

- ニホンナシのジョイント仕立て栽培には実施許諾料（特許4895249号）が必要です。
- 安定した収量確保のためには、側枝を計画的に更新する必要があります。